

科目名	和讃Ⅱ					単位	2.0
担当教員	杉浦 道雄						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	2503

●授業のテーマ

三帖和讃を通して親鸞聖人の教えを学ぶ

●到達目標

和讃の組織・特色を学び、三経和讃・高僧和讃を中心に理解を深める。特に高僧和讃を中心に、七祖の教義について深める事とする。

●学習内容(授業概要)

講義において毎回配布する資料を元に真宗聖典に依りながら学習する。

親鸞聖人が和讃において何を伝えようとしたのかを学ぶ為に、教行信証と和讃の関係についても逐一確認をしていきながら深めていく。

また三経和讃においては特に大経和讃と観経和讃を中心としながら、親鸞聖人の三経観を窺う。

高僧和讃においては七祖の教義について学ぶ為、本講の中心となるテーマであり親鸞聖人の七祖観を丁寧に学習することとする。

●学習内容(授業計画)

《後期》

1. 高僧和讃より曇鸞和讃を学ぶ
2. 高僧和讃より曇鸞和讃を学ぶ
3. 高僧和讃より曇鸞和讃を学ぶ
4. 高僧和讃より道綽和讃を学ぶ
5. 高僧和讃より道綽和讃を学ぶ
6. 高僧和讃より道綽和讃を学ぶ
7. 高僧和讃より善導和讃を学ぶ
8. 高僧和讃より善導和讃を学ぶ
9. 高僧和讃より善導和讃を学ぶ
10. 高僧和讃より源信和讃を学ぶ
11. 高僧和讃より源信和讃を学ぶ
12. 高僧和讃より源空和讃を学ぶ
13. 高僧和讃より源空和讃を学ぶ
14. 高僧和讃より源空和讃を学ぶ
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

事前学習においては真宗聖典などに依りながら和讃を丁寧に読み込んでおくこと。

事後学習においては真宗聖典・講義の配付資料・ノートを照らし合わせながら自ら課題を見出し次の講義へと繋げること。

●成績評価方法・基準

出席 40%・学期末試験 60%

●テキスト（必携）

●参考文献／その他
真宗聖典

●履修上の注意
特になし